

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスフォーリーフ			
○保護者評価実施期間	令和7年2月17日		～	令和7年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 3日		～	令和7年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの特性や日々の成長に合わせた活動を毎日1つ1つ考え行っている。	・療育的な効果を大切にしつつ、お子さんの意思や好みを尊重し自ら参加したいと思えるような楽しい活動を目指している。 ・フォーリーフでの活動や、学校、お家での様子を元に毎日ミーティングを行い、日々PDCAサイクルを回している。	より専門的なアセスメントや夢中になれるような教材を追求できるよう、職員の質を向上させていく。
2	保護者交流会などの保護者向けの講習会を定期的に行っている。	・事前に保護者の方の悩みや不安のヒアリングを行い、講習会の内容を決定する ・同じ悩みを抱えた保護者が意見交換が出来るよう、交流会での席を考慮する。	・保護者のニーズに沿った講習会を行い、家庭での負担を軽減できるような家族支援を目指す。
3	長期休みでは、・外食体験・調理活動・工場見学・季節を感じるアクティビティなどを行い、様々な経験に繋がるよう支援している。	・魚のつかみどり 花見 プール 芝すべりなど季節ごとに楽しめる活動を行っている。 ・買い物体験や外食体験など社会スキルや自立に繋がる活動を提供している	・お子さん達が主体となって出来る活動を増やし、自立や社会参加に繋がる体験を提供出来るよう努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所行事への地域住民の招待や地域のこどもとの交流機会といったインクルーシブの観点に課題点があると思われる。	地域交流やインクルーシブ教育には綿密な配慮や調整が必要であることが課題として挙げられた。今年度はフラダンス教室の先生と生徒の方々に来ていただき交流を図りました。しかし、フラダンス教室の方々は福祉への理解のある団体であり、子どもたちの特性や活動時間への配慮を事前に確認する事が出来ました。今回のような理解のある方々と交流できるとも限らない為、対策が必要だと思われます。	合理的配慮が現実可能な範囲で行えるよう職員の質の向上と新しいアプローチの模索を日々継続していく。
2	玄関前や上がり框、階段などの段差が急であるためバリアフリーの観点に課題点があると思われる。	それぞれに手すりを設置し、職員による見守りを徹底しており、事故やインシデントは発生していない。しかし、今後も改良が必要である。	今後も入所するお子さんに合わせてステップや手すり等の道具による補助を行い、過ごしやすい環境を整えていく
3			